

■肢体不自由のある子どもたちへの実践事例

マルチメディアDAISY図書が身近な読書活動の一つとして活用されることを目指して

横浜市立上菅田特別支援学校
教諭 眞濱 葵

本校の読書活動の取り組み

本校は、さまざまな実態のある児童・生徒一人ひとりの目標や内容にあわせて学習する横浜市の肢体不自由特別支援学校です。小学部31名、中学部40名、高等部62名の合計133名が在籍しています。

本校の読書活動の取り組みとして、毎年実施している「読書の旅」というものがあります。「はまっ子読書の日」をはさんだ約1か月の期間、学部（小・中・高）や教職員別にどれだけ図書室にある本を借りて読むことができたか、読書数を競います。

毎年テーマは異なりますが、今年度は“温泉”をテーマに行いました。実際に温泉のにおいを嗅いだことがない子どもたちも多いため、各温泉についての違いがわかるようにそれぞれの温泉の入浴剤を用意し、その場においておいを嗅いでもらえるような場も設定しました。活動を開始する際には、学校司書が作成した“入浴券”を全校に配布し、活動を意識してもらえるようにしました。また、昨年度から感染症対策

が緩和され、保護者の方々による図書ボランティアも復活しています。今年度も「読書の旅」の参加賞として“入湯手形”を全校の子どもたちの分を作成していただきました。



読書の旅



入浴券



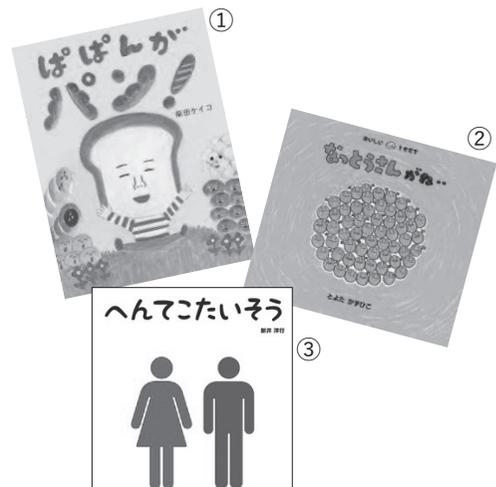
入湯手形

できるように、各学部に1台マルチメディアDAISY図書専用のタブレット端末を用意し、そこから子どもたちのタブレット端末にダウンロードできるようにすることで、さらなる子どもたちの読書活動の推進に取り組んでいます。



図書室の様子

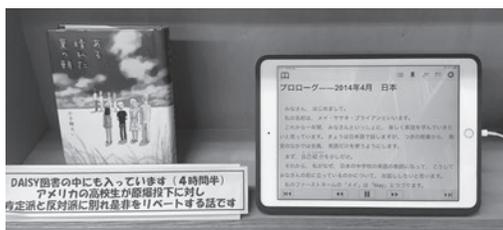
本校の図書室には、マルチメディアDAISY図書がいつでも読めるように、タブレット端末が2台設置されています。子どもたちが本を借りに図書室を訪れた際に視聴したり、中にはマルチメディアDAISY図書をめあてに図書室を訪れたりする子どもたちもいます。横浜市では、各学校の子どもたちに1人1台、端末の支給がされています。本校では子どもたちのタブレット端末に「リーダー」というアプリが入っており、教室などでもマルチメディアDAISY図書を視聴することができます。今年度、新たな取り組みとして、図書室へ行かなくても手軽に読みたい図書、授業で活用したい図書をダウンロード



人気の絵本 ①『ぱぱんがパン!』柴田ケイコ 作 (アリス館) / ②『なっとうさんがね..'』とよたかずひこ 作・絵(童心社) / ③『へんてこたいそう』新井洋行 作・絵(小峰書店)

本校のマルチメディアDAISY図書では、比較的絵本がよく読まれています。

一般校の教育課程に準ずる学習をしている子どもたちの利用も考え、図書室の本棚にタブレット端末を常設し、子どもたちの利用時間に小説などの音声も流しました。取り組みを始めてからしばらくすると、高等部の生徒が興味をもち、ダウンロードしてほしいと要望が出るようになりました。絵本以外にもいろいろな分類の本があることを児童・生徒や教職員に知ってもらえることで、これからますますマルチメディアDAISY図書の利用が広がっていくのではないかと考えます。



マルチメディアDAISY図書と原著を一緒に展示している

マルチメディアDAISY図書の活用事例

(1) 対象

小学部1年2名

(2) 活用場面

昼休み

(3) 子どもの様子

昼休みに車いすからマットに降りて休憩をする時間をとっています。その時間に友だちと一緒に楽しむことができる活動を作りたい、絵本に興味・関

心を広げてほしいという思いがありました。

<活用前>

絵本の中での繰り返しのフレーズや、カラフルでわかりやすいイラストや写真を使った図書を楽しむことができていました。

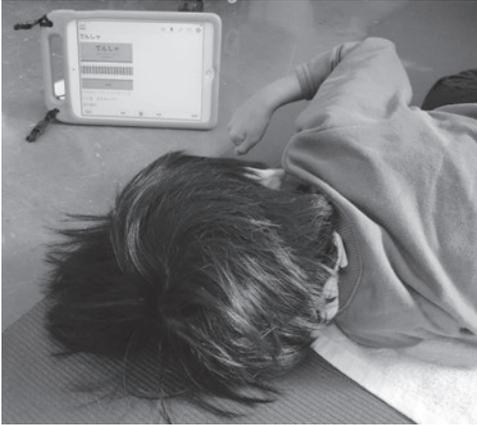
<活用後>

Aさんは、友だちが話を楽しんでいる様子を感じ取ることで、一人で視聴しているときよりも興味をもって、楽しそうな笑顔で手足を動かしながらタブレット端末の画面に目を向ける様子が見られました。

Bさんは、視聴したい図書の選択では、教員が間に入りながら、自分の思いだけでなく、友だちの思いも聞き、順番に視聴する経験も積み重ねていきました。

<成果>

学校司書に相談しながら、2名が興味・関心をもって視聴することができる図書(繰り返しのフレーズ・3～4分程度で集中して視聴することのできる話の長さ・カラフルなイラストやわかりやすい写真を活用したもの・乗り物や動物などの好きなもの・学習とリンクしたものが出てくる内容など)を選びました。ある程度の期間を設けて新しいマルチメディアDAISY図書を取り入れながら行うことで、子どもたちが興味をもって続けることができました。



子どもがマルチメディアDAISY図書を視聴している場面

まとめと課題

本校の子どもたちにとってマルチメディアDAISY図書を利用することは、図書へのアクセスのしやすさなどさま

ざまなメリットがありますが、校内での活動や普及はまだ十分ではないと言えます。今年度、新たな取り組みを行い、マルチメディアDAISY図書の推進をしてきました。年々、子どもたちによる利用数は増加していますが、教員自身が、マルチメディアDAISY図書そのものを知らなかったり、使い方や活用の仕方がわからず利用にいたらなかったりすることもあります。各学部にマルチメディアDAISY図書専用のタブレット端末の設置を通して、まず教員にマルチメディアDAISY図書について知ってもらい、授業などでの活用や読書活動の充実につなげたいと考えています。

